

# 後期生徒会執行部×協働スキル

15代目後期生徒会執行部

## 役割・仕事

### ●人数・役職

生徒会執行部は、以下の6人で構成される組織である。

#### 【役職と人数】

#### 【仕事内容】

- ・生徒会長 1名 → 会議の進行や方針決定を行い、学校・先生方と生徒をつなぐ中心的役割を担う
- ・副会長 2名 → 生徒会長を補佐する。主に部活動と委員会の活動が円滑に進むように調整を行う。
- ・会計 2名 → 予算と決算を担当し、生徒会活動においてお金が適切に使用されるように管理する。
- ・書記 1名 → 議事録を作成し、会議の記録を毎回残す。また、情報共有を支える役割を担う。



副校長先生と前期・後期生徒会執行部の対談の様子

## 主な活動内容

### 10月

★生徒会選挙により選出

★生徒総会(下半期)

★学校説明会①

### 11月

通常業務の実施

### 12月

★予算・決算の施行

・部活動の活動予定把握

・PTA寄付金の使途検討

### 1月

通常業務の実施

★マナーアップウィークの開催

### 2月

通常業務の実施

### 3月

★予算・決算の施行

★卒業式準備

### 4月

### 5月

★生徒総会(上半期)

### 6月

★SpF：得点管理

★学校説明会②

### 7月

### 8月

### 9月

★ScFでの物販・企画

★生徒会選挙

## 協働スキルのBEFOREとAFTER

### ①生徒総会の「意義」の再検討

●生徒会規約における生徒総会の位置づけ

#### 【BEFORE】

・生徒の間では生徒総会の「短縮」や「円滑」の方が重視されるようになり、

▶本来の**目的の形骸化**

▶生徒間の**意識の低迷**

そこで...

⇒生徒会執行部として、生徒総会の意義を伝えることは大きな課題

#### 【AFTER】

①中央委員会での議論の活発化

・週一回の定期開催化

・各委員長が議題を持ち寄り、議論活発化

②生徒総会における質問制度の導入

・各議題で2つ以上質問が出ないと次に進めないというルールを導入

### ②ScF企画の準備

#### 【BEFORE】

・例年グッズ販売をしていたものの、赤字になることが多かった

・「生徒会執行部」としての企画の**意義が希薄**

そこで...

#### 【AFTER】

①金銭面について全員で話し合いを行う

→前年度の反省を行い、失敗を繰り返さないために検討をした

②ていぐいすの作製を協力して行う

→お互いが生徒会の1員である意識を強く持ち、優先的にScFでていぐいすが登場した様子活動に参加した



### ★協働スキルの向上に向けた課題

①全員が集合することが少なく、情報伝達がスムーズにできていない

→参加率を上げるとともに、報連相の意識を強くもつ！

②前期と後期の壁を取っ払う

→一緒に活動していく上である程度距離を縮めることで、より円滑に話し合いが進行したり、議論が活性化する

③生徒会内での共通意識を確立する

→生徒会執行部の中で全員が目指す姿を言語化しすることで、自分事化